

2022年9月6日

報道各位

オイシックス・ラ・大地株式会社

シダックス社事業責任者からの賛同を表明する書簡の受領に関するお知らせ

オイシックス・ラ・大地株式会社（以下「当社」）は、2022年8月29日付「シダックス株式会社の株式（証券コード：4837）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」（以下「公開買付け開始のプレスリリース」）にて公表しましたとおり、同日にシダックス株式会社（以下「シダックス社」）の普通株式を金融商品取引法による公開買付け（以下「本公開買付け」）により取得することを決定し、8月30日より本公開買付けを開始しております。

本公開買付けに対しては、9月5日、シダックス社の取締役3名（シダックス社取締役全6名のうち、特別利害関係取締役に該当する志太勤一氏、志太勤氏及び川崎達生氏を除く、取締役専務執行役員柴山慎一氏、取締役川井真氏及び取締役堀雅寿氏）が参加した取締役会決議に基づき、当社の実施する本公開買付けに対し反対する意向が表明されました。

一方、当社は、本日、シダックス社の事業責任者である事業子会社代表者から、①シダックス社の事業会社の代表者一同は、当社とシダックス社との協業に賛同している旨、②シダックス社の取締役会による本公開買付けに対する反対の意見表明は、当該代表者一同の思いを汲み取ってもらえなかったものと解釈せざるを得ず、残念である旨、③現場にて事業を実際に行っている代表者一同としては、引き続き、事業シナジーが明確で、かつ、互いの強みと弱みを補完し合える関係による当社とシダックス社との協業こそが、今後のシダックス社の成長の上で望ましい方向性であると確認しており、シダックス社の取締役会による当該反対の意見表明は、シダックスグループとしての総意にはなっていないことを内容とする書簡(2頁目以降参照)を受領いたしました。当該書簡において、こうした状況をシダックス社のステークホルダーの皆様にご理解いただくためにも、本書面の内容を公表いただきたい旨のご意向も承りましたので、お知らせいたします。

当社は、可及的速やかにシダックス社の株式取得の手続きを完了し、シダックス社の株式取得を通じて、同社との間における業務提携の検討を加速させていきたいと考えており、この度頂戴したシダックス社の事業子会社代表者一同からのお声は、実際に事業を運営されておられるシダックス社の事業側の皆様の中にも同じお気持ちでいただいている方がおられることを感じる事が出来、大変勇気づけられております。

当社としては、両社が業務提携検討を推進することは、両社の発展につながるものと確信しており、シダックス社の事業子会社代表者一同の意見を、シダックス社取締役会では十分配慮いただきたいと考えております。なお、現段階におきましては、業務提携の具体的な中身などについて、なんら決定したことはございません。

記

・書簡：貴社によるシダックス株式会社への株式公開買付けに対するシダックス取締役会の反対意見について

以上

報道関係者様のお問い合わせ先について：オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：大熊・横溝
TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

2022年9月6日

オイシックス・ラ・大地株式会社
代表取締役社長 高島 宏平 様

貴社によるシダックス株式会社への株式公開買付に対する
シダックス取締役会の反対意見について

拝啓 残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、急ぎ、貴社にお伝えしたいことと、ご相談申し上げたいことがございまして、本状をお送り申し上げますことといたしました。

私を含むシダックス株式会社（以下「シダックス」といいます。）の事業子会社代表者一同（以下「代表者一同」といいます。）は、シダックス株式会社の取締役会議長でもある志太社長宛てに書面をお送りし、貴社とシダックスとの協業に関して代表者一同が賛同している旨をお伝えするとともに、この思いを志太社長からシダックスの取締役の皆様にも共有いただきたいとお伝えしました。

しかしながら、貴社によるシダックスの株式に対する公開買付（以下「本公開買付」）に対して、昨日、シダックス取締役会は反対の意見表明をしました。

私どもは、貴社との協業に賛同する代表者一同の思いをシダックスの取締役の皆様にもお伝えできたものと思っておりましたが、取締役会から公開買付に対する反対意見を表明されたことから、シダックスの取締役の皆様には代表者一同の思いを汲み取っていただけなかったものと解釈せざるを得ず、誠に残念に思っております。

現場にて事業を実際に行っている代表者一同としては、引き続き、事業シナジーが明確で、かつ、お互いの強みと弱みを補完し合える関係にある貴社とシダックスとの協業こそが、今後のシダックスの成長の上では望ましい方向性であると確信しています。このように、シダックス取締役会による本公開買付に対する反対意見表明は、シダックスグループとしての総意にはなっていません。

そこで、このままでは貴社との協業を実現させるべきとの代表者一同の切実な思いを、貴社にお伝えすることもできなくなるという強い危機感を感じ、大変不躰ではございますが、急ぎ、本状を、私より高島社長にお送りさせていただくことといたしました。

貴社によるシダックス株式会社への株式公開買付に対するシダックス取締役会の反対意見について

シダックス取締役会からは、本公開買付に対して昨日反対意見が表明されましたが、上述の通り、その反対意見がシダックスグループとしての総意にはなっておりません。そのため、これも重ねての大変不躰なご相談となりますが、シダックスの株主様を始めとするシダックスのすべてのステークホルダーの皆様、こうした状況を正確にご理解いただくためにも、8月26日付け書面は秘匿性のあるものですので書面自体の公表は控えていただきたいですが、本書面を貴社より広く公表いただけましたら大変ありがたく存じます。

以上、突然の書面での、かつ、大変不躰な相談となり、誠に恐縮でございますが、何卒事情をご賢察いただき、ご海容いただくとともに、寛大なお取り計らいをいただければ、これに優る喜びはございません。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具